

1082

真

第

第

第

印軍情第四三〇號

最近河内地方民心ノ動向ニ關ス

昭和十六年六月四日

印度支那派遣軍參謀長

陸軍次官 木村 兵太郎 殿

前題ノ件別冊ノ如ク通報ス

送付先

被集團參謀長

參謀次長、陸軍次官 (參考)

印

昭和十六年六月八日
午前六時
陸軍大臣官

陸軍

324

16.6.13

印軍情第四三〇號別冊

最近河内地方民心

動向ニ関スル件

今次澄田機関ノ實施セル援蔣物資搬出ニ関シテ新聞
報道差止等ノ關係ヨリ搬出開始初頭ニ在リテ一般ニ
之ヲ知ルモノ少ク特ニ認ムヘキ及響ナカリシモ時日ノ経過ト
共ニ漸次其ノ内容ヲ知ルニ至リ在留華僑並安南民衆
間ニ多少不満並ニ動搖アルヲ窺ハレ一面独佛協定成立ニ
伴フ佛印ノ樞軸圈参加ヲ予想シ佛印ヲ中心トスル
日米衝突ノ危機ヲ云々スルモノアリ
狀況左ノ如シ

一、物資搬出ニ伴フ及響

、安南人ノ動向

搬出開始頭ニ於テハ佛印當局ノ新聞記事掲

載差止等ノ為一般ニ搬出開始ノ事實ヲ知ルモ、少ク
 何等特殊ノ及響ナカリシモ、時日ノ経過ト共ニ漸
 次其ノ事實ヲ知り一般ニ日本軍ノ強硬態度ニ對
 シ快哉ヲ叫ビアルモ一部ニ於テハ現下ノ物資不
 足並價格騰貴等ノ苦境打開策トシテ在海防
 援蔣物資ノ現地利用方予テヨリ要望シマリタ
 ルトコロ今次日本宛搬出ノ事實明瞭ニナルヤ日
 本ノ武力ヲ背景トセル強行搬出ニ不満ヲ抱キ
 延ビテ日本ノ強行々動ニ對シ傍觀スルノ止ムナキ
 佛印當局ノ苦衷ニ對シ同情スル如キ意嚮ヲ
 洩スモノアリ

華僑ノ動向

佛印當局ニ於テハ我々軍ノ物資搬出企圖ニ對シ

既ニ謀知シアリタルモノ、如ク五月上旬海防中華
 總商務會委員、現海防廣東幫、長潘鳳山
 ヲ通シ海防係統倉庫内保管物資所有者ニ
 對シ、万一日本軍ニ於テ物資搬出ヲ實施スル際
 ノ対策トシテ、物資搬出依頼書、如キモノ、作成
 ヲ命シ、約四千餘通受理シタル趣ナリ
 而シテ潘幫、長ハ今次ノ物資搬出開始後在
 河内南京政府通商代表林珮珉ヨリ軍需品ニ
 非ラサル個人所有物資、誤送ヲ避クル為各所
 有主ヲシテ關係書類ヲ提出セシヘク、懇通心シタル
 處潘幫長ハ林通商代表ハ日本軍ノ一部ノ如キ
 モ、ニシテ信用シ難シト稱シ、林代表ノ申出ヲ拒絶
 セリト
 河内ニ於ケル物資所有者ニ對スル石炭係書類、

提出ハ現廣東幫長関亨熾ヲ通シ實施シアリテ順
 調ニ行ハレアルノミナラス一度搬出ヲ開始スルヤ何等ノ
 抵抗障害ナク極メテ順調活潑ニ實施セラル事案
 ニ直面シ當初佛印當局ヲ通シ我カ軍ノ搬出ヲ阻止セ
 ントシタル輩僞モ漸ク佛印ノ頼ムヘカラサルヲ悟リ
 唯一ノ救済機関タル南京政府通商代表辦事處ニ
 口頭又ハ書類ヲ以テ願出ツルモノ漸増ノ傾向ニヨリ彼
 等ノ焦慮ヲ窺知サル

尚右辦事處ニ於テハ日本軍ニ於テ誤テ個人所
 有物資ヲ搬出シタル場合ハ現在提出セラル肉係書
 類ニ基キ審査シ將來之カ代價ノ辨償ヲナスヘキ旨
 言明シ輩僞工作ノ徹底ニ努メアリ

ニ 獨佛協定成立ニ伴フ反響

獨佛協定成立ニ因シ當地一般民心ハ概ネ平穩ニシテ

特殊ノ反響ヲ認ムサルモ一部知識階級佛安南人間ニ
 在リテハ同協定締結ニ伴フ佛本國ノ對獨提携ノ積極
 化ハ佛印ノ政治性ニモ多大ノ影響ヲ及ホスヘク同協定
 ヲ繞ル佛印ノ向背ハ極東ニ於ケル今後ノ勢力分野ヲ
 示唆スルモノトシテ大ナル関心ヲ有シアリ而シテ之等一
 部ノ觀察ヲ綜合スルニ今後佛印ハ「ヴシー」政府ノ親独
 方針ニ順應シ杞軸國側ノ勢力ノ一環トシテ対日協調ノ
 態度ニ変移スルモノト予想シ之ニ伴ヒ米國カ佛印ノ
 杞軸陣營接近阻止ノ態度ニ出ツヘキハ南大西太平洋
 西洋ニ於ケル佛殖民地接收競ト相俟ツテ佛印侵攻
 ノ蓋然性ヲ著シク増大セリト觀察シアリテ今次ノ
 澄田機関ノ援將物資強行撤出ト駐居シ佛印ヲ
 中心トスル曰米衝突ノ不可避ヲ過信シタルモノ、如ク
 各種ノ流言浮説流布セラレアリテ民心ノ動搖ヲ窺ハル

ルモノアリ

具体的状況左如シ

1. 防空壕ノ構築修理

(1) 数日前ヨリ市内「プロテクトラ」病院ニ於テハ防空壕ノ構築ニ着手シ目下引続キ工事中ナリ

(2) 市内「プロテクトラ」大尉通ニ於テハ五月三十日以来苦力

多数防空壕ヲ修理中ナリ (憲兵現認)

2. 防空演習ノ実施

目下西貢市ニ於テハ防空演習実施中ナルカ高

河内市ニ於テモ近日中ニ燈火管制防空演習

実施ノ予定

3. 流言

最近一部佛人間ニ在リ如キ流言アリ

独佛協定ハ不勘英米國ヲ刺戟シ且今因日本ノ強

壓的物資搬出ノ實施ハ米英ヲシテ佛印ノ対枢軸
國協調ノ表レナリト思推セシメ米英極東基地ニ
於ケル空軍ハ佛印牽制ノ為威嚇行動ヲナシアル
如ク數日前米軍用機二百機海防沖合ヲ飛翔通
過セリト云々